



佐藤 寛一さん(80) よね子さん(80) 南方町・北本郷 1960(昭和35)年12月入籍

忙しいときは二人で一生懸命に

★二人のなれ初めは 【寛一】仲人さんにお世話してもらってお見合いしたね。 ★お互いの第一印象は 【寛一】良く働きそうな人だと思ったよ。農家は働く人もらえって言われてだからね。 【よね子】実家でも農家だったから、農家に嫁ぎたいと思っただよ。 ★結婚当時の思い出は 【寛一】農業の他に、町議会議員したり文化協会の理事したり、いろんなことやらせてもらってたが忙しかったね。民謡も好きでやってで一番の思い出は、NHKのど自慢で全国3位になったことだね。 ★夫婦円満のコツは 【寛一】とにかく素直にお互いの言うこと聞いて一生懸命頑張ることだね。 ★これからしたいことは 【よね子】今まで忙しかった分、ゆつくり温泉でも行ききたいね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「郷土研究部の思い出」

昭和20年に神奈川県より疎開してから、昭和29年の高校卒業まで、登米町で過ごさせてもらった。 思い出は尽きぬが、特に強烈なものは「人骨発掘」だった。私が郷土研究部だったときの顧問は、東洋大学教授になられた故植田房雄先生。先生から与えられた郷土研究部のテーマ「北上川流域の汀線変化」を2年がかりで調査した。 点在する貝塚を等高線でつなぐと、当時の汀線(海岸線)が明らかになる。現在の広大な田んぼは海であり、人の住む集落は小高い山や島だったことが推定できた。調査は貝塚に穴を掘り、厚さを測定した。その厚さで人の生活した期間を推定できる。古代人が貝を

佐竹 明雄さん(85)

東京登米会 登米町(金谷)出身



採り、中身を食べて、その貝殻を捨てた場所が貝塚で、ほとんどがカキの殻だった。土器やたき火跡なども出土した。 高校2年の夏休み、北方村(現迫町)の小高い畑の貝塚で、発掘中に人の頭蓋骨を発見した。学校中が大騒ぎになり、東北大の教授も駆け付けたことを覚えている。また、翌年の夏休み合宿で桃生郡桃生町(現石巻市桃生町)の山の貝塚から5体そろった人骨も発掘した。この時も河北新報などに取り上げられ、大きな話題になった。2年連続で人骨を掘り当てた経験は、稀有な出来事ではなかるうか。炎天下の作業は厳しかったが、気が置けない仲間たちや先生との共同生活は実に楽しかった。 また、植田先生の研究テーマの一つである「南部北上山地登米・米谷地区の二層系・三層系の地質構造」の実地踏査のために自転車で地層の露頭を求めて走り回った。数億年前の地球が感じられる壮大な歴史の無限の宝庫であり、古代人が豊かな海の幸を求めて住み着いたこの地はロマンに満ちあふれている。 登米は70年の歳月を経ても、いつまでも私の心の故郷であり続けるであろう。

おらほの産直

豊里地域産物活用施設 「産直がんばる館」



今はリンゴやホウレンソウがおすすめ。他にも旬の野菜をいろいろ取りそろえています。

今月は、豊里地域産物活用施設「産直がんばる館」の大星友子店長にお話を伺いました。 Q「産直がんばる館」の特徴などについて教えてください。 産直がんばる館は、JR気仙沼線「陸前豊里駅」の駅舎内にあり、登米市の入り口としてさまざまな地域からの利用者がいるので、新型コロナウイルスの感染防止には特に気を付けて営業しています。 Q新商品やおすすめ商品などを教えてください。 産直がんばる館のメイン商品は、何といっても地元から

仕入れた新鮮な野菜。 店内に並ぶ野菜は、全て市内から仕入れており、豊里町域内の契約農家から仕入れた野菜が全体の3分の2を占めています。長く契約している農家が多いので、取れたての新鮮で安全な野菜を仕入れることができます。 今の時期のおすすめは、ゴボウとナガイモで、特に千切

りゴボウは、皆さんから評判が良く、喜んでいただいています。4月中旬からトマトとキュウリ、5月頃からはキャベツなどがメインになります。地元の新鮮でおいしい野菜が店内に並びますので、ぜひお買い求めください。 【問い合わせ】豊里地域産物活用施設「産直がんばる館」 ☎0225(76)6201



おすすめの豊里町産のナガイモは甘く、粘りが特徴

まちの文芸

俳句・川柳

作品募集! ●4月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、2月26日(金)までご応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。 ●応募者多数の場合選考して掲載します。

俳句 盛りつけの豪華一品雑煮椀 界限を漫ろ歩きし日脚伸ぶ 先づ記す雪の記号の初日誌 我が耕土覆ひ尽くせる深雪かな 青畳に香る茶の湯や初稽古 初稽古竹刀打ち込む白袴 栗駒山の稜線確と淑気満つ

菅原れい子 (迫) 及川総一郎 (東和) 及川 豊子 (東和) 及川 守男 (東和) 大橋 久子 (東和) 大平 清登 (東和) 小野寺好道 (東和)

初春に琴の音聴こゆ武家屋敷 お正月笑顔で繋ぐ家族愛 雪達磨孫と作りし軒下に 賑やかや寄鍋の亡友今いずこ 雪降りりに鳴き行く雁の列ただし 川柳 ああさみし会いに来てくれ友人 八十路坂大栄翔に元氣貰い

亀卦川たき子 (東和) 酒井みつ子 (中田) 石崎よしの (米山) 佐瀬 徳 (南方) 高橋 榮子 (南方) 高橋 要子 (石越) 佐々木 淳 (石越)